



～小児がんの子どもたちを応援するアヒル型ロボット～

My Special Aflac Duck を日本大学医学部附属板橋病院へ寄贈

アフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 真敏）は5月22日、日本大学医学部附属板橋病院へアヒル型ロボット「My Special Aflac Duck」を寄贈しました。

贈呈式では、米国から来日したアフラック・インコーポレーテッドのダニエル P.エイモス CEO から日本大学医学部附属板橋病院の陳基明（ちん・もとあき）小児科科長および小児がんの患児に My Special Aflac Duck が贈呈されました。

My Special Aflac Duck は、小児がん治療のために同世代の子どもたちと遊ぶ機会が少なく、自分の感情を上手に表現することができないなど、さまざまな課題を抱える患児を支援するために米国で開発されたアヒル型ロボットです。

米国では昨年从小児病院等を通じて患児へ提供する活動を行っており、日本でも同様の活動を展開するにあたって、今般、当社とともに長年にわたって小児がんの患児たちの支援に取り組んできた日本大学医学部附属板橋病院に寄贈することとなりました。

贈呈式の様子



<アフラック・インコーポレーテッドのダニエル P.エイモス CEO コメント>

My Special Aflac Duck は医療関係者やチャイルドスペシャリストと呼ばれる専門家達が一体となって開発したロボットです。アメリカではすでに 3,000 羽の My Special Aflac Duck を贈呈していますが、今後は日本の子ども達にも届けていきたいと思えます。

<日本大学医学部附属板橋病院・陳基明小児科科長コメント>

小児がんは症例が少ない希少がんと呼ばれる病気で、子供たちは毎日、一生懸命治療を受けることに取り組んでいます。小児がんの子ども達を支える My Special Aflac Duck が多くの子ども達に届けられるということを大変うれしく思います。

アフラックは、ペアレンツハウスや奨学金制度の運営のほか、小児がんに関する啓発活動など小児がんの患児とそのご家族への支援に長年取り組んできました。これらの活動に加え、今後は My Special Aflac Duck の提供を通じて、患児たちのさらなる QOL 向上にも貢献してまいります。